

Ⅵ 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	石 原 裕 介
副 委 員 長	飯 田 數 義
委 員	飯 尾 一 利
委 員	佐 治 隆
委 員	小 川 俊 二
委 員	吉 川 博
委 員	岸 幸 雄
委 員	加 藤 俊 男
委 員	山 田 久 子
委 員	加 藤 浩

(敬称略)

社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

社会教育委員会議の構成

- ・ 会議の種類 定例会（年2回開催6月・11月）
- ・ 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、
生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐、
生涯学習課主事

② 会議の運営状況

令和5年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和5年 6月28日（水） （定例会）	【件名】 1 令和4年度事業報告について ① 生涯学習課事業報告について ② 蟹江町図書館事業報告について 2 令和5年度事業計画について ① 生涯学習課事業計画について ② 蟹江町図書館事業計画について
令和5年 11月22日（水） （定例会）	【件名】 1 令和5年度事業中間報告について（令和5年4月～9月） ① 生涯学習課事業について ② 蟹江町図書館事業について

	2 令和6年度事業計画(案)について ① 生涯学習課事業計画(案)について ② 蟹江町図書館事業計画(案)について
--	---

2 生涯学習係

(1) 生涯学習事業

講座・各種教室の開催（令和5年度実績）

① 生涯学習講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
若者の学び・体験・交流事業	1回	24人	12人
お父さんたちの料理教室	3回	各回24人	①15人 ②7人 ③6人
つまみ細工体験教室	1回	15人	8人

② 自主グループの活動支援

生涯学習講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を一定期間減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

蟹江中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を実施している。今後も、町民のニーズに応えられる事業が展開できるよう努めたい。

(2) 家庭教育事業

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
親と子の体験教室	1回	15組30人	4組8人	蟹江町希望の丘広場
親子キャンプ教室	1回	13家族	12家族35人	つぐ高原グリーンパーク
ちょこっと探検隊	1回	16組32人	15組31人	名古屋市消防航空隊・中部国際空港

〔点検・評価〕

親と子の体験教室では、蟹江町婦人会や安心安全課の協力のもと、防災備品の紹介や炊き出し訓練を行った。参加者からは楽しく防災について学ぶことができたという好評であった。

親子キャンプ教室は申し込み者数も多く、ニーズの高い事業となっている。安

全にも考慮しつつ、野外での体験が楽しくできるよう開催していきたい。

ちょこっと探検隊は、防災ヘリコプターなど普段は見られない施設や設備を見学や消防隊員の方から直接お話を聞くことができ、親子で貴重な体験をする機会となっている。引き続き実施していきたい。

(3) 青少年健全育成事業

① 青少年講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども体験教室(工作)	2回	各20人	第1回18人 第2回7人	蟹江中央公民館
木工体験教室	2回	各10人	第1回9人 第2回10人	蟹江中央公民館

② はたちの集い

「はたち」を迎える方が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動を取ることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

開催日：令和6年1月7日(日) 対象者：361人 参加者：273人

③ 蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業

町在住の中学生を沖縄県読谷村へ派遣し、地元中学生との交流や民泊をおし、伝統・文化を学ぶ。

実施日：令和5年8月21日(月)～23日(水)

募集人員：12人 参加者：12人

④ 青少年健全育成運動

開催日：令和5年7月14日(金)、令和5年11月21日(火)

青少年の非行防止のため、研修会(講演)や街頭指導を年2回実施している。

[点検・評価]

子ども体験教室では小学1～3年生を対象に、折り紙でハンドスピナーとコマ作りを行い、身近な材料でものづくりができることを体験してもらった。この講座では、中学生ボランティアが参加して工作の手伝いを行っており、互いに良い経験になったと思う。木工体験教室では、小学4～6年生を対象に本棚の製作をし、道具の扱いやものづくりの楽しさを学ぶ機会となった。これからも子どもたちの達成感や探究心を育てていける内容及び教室づくりに努めていく必要がある。

はたちの集いは、町外へ転出している方も、手続きを経て当町で出席できるため、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業においては、読谷村の中学生と蟹江町の中学生との交流を行った。また、民泊の方との交流や、旧海軍指令部壕等を見学す

ることで、沖縄県の歴史文化への理解を深め、戦争や平和について考える機会となった。さらに令和5年度においては、実施した事業の内容をまとめた資料を文化祭や各小中学校などで掲示することで、情報発信を行った。今後も、派遣した中学生が多くのかを学んでくることができるよう、充実した内容で実施していきたい。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し支援する。

9 部門 42 団体 439 人 補助金1,053,650円

② 蟹江町婦人会

婦人（女性）の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9 支部 17,155 世帯 補助金1,307,750円

③ 蟹江町小中学校 P T A 交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与する P T A 活動に対し、交付金を交付し支援する。

7 小中学校 2,685 人 交付金1,284,000円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を深めることができた。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

・ 開催日 令和5年7月2日(日)

・ 開催場所 蟹江中央公民館 集会室

○生涯学習文化交流会

蟹江町 伊藤玲子社中 箏曲

沖縄県読谷村 儀間自治会子供会 琉球舞踊・エイサー

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

・ 開催日 令和5年11月4日(土)・5日(日)

展示の部 34 団体・個人 9 人

芸能の部 17団体

- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「文化交流会」として、沖縄県読谷村の儀間自治会子供会を招待し、琉球舞踊とエイサーを披露していただいた。

文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず開催できたため、展示の部、芸能の部ともに、昨年より参加団体が増加した。

両事業ともに、来場者をどう増やしたら良いかという部分が課題であり、今後はPR方法を見直し、工夫していきたい。

3 歴史民俗係

(1) 蟹江町歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数

開館日数 305日

入館者数 5,837人

1日当たり 19人

〔点検・評価〕

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなり、通常どおりの運営ができたため、令和4年度に比べて1日あたりの入館者数も増えた。入館者数の増加をめざすだけでなく、資料館に足を運んでいただく方に満足していただけるような展示や講座等を提供できるようにしたい。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,974点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料などを購入した。

小酒井不木 草稿「タナトプシス」 一式

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から教科書等14点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

令和5年度においては、購入資料1点、寄贈資料14点、合計15点の資料を収蔵した。大切に保管するとともに、特別展や企画展で活用していきたい。

収蔵資料については、町の歴史を伝える貴重な財産として適切に管理すべきであるため、資料保存のための周辺設備とともに、資料についてのデータの管理体制も充実していく必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する特別展・企画展を実施した。

ア 特別展

・「蟹江の文化財」

展示期間 令和5年9月2日（土）～10月1日（日）

開催場所 企画展示室

来館者数 562人

・「蟹江合戦と鈴木四郎左衛門家」

展示期間 令和5年11月7日（火）～12月17日（日）

開催場所 企画展示室

来館者数 729人

イ 企画展（開催場所：企画展示室）

・「エコきつず調査隊成果発表展」

展示期間 令和5年8月27日（日）～9月3日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

・「蟹江の文化財写真展」

展示期間 令和5年9月5日（火）～9月24日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

・「ちょこっと思いで昔の蟹江～昭和40年代前半の街並み～」

展示期間 令和6年2月2日（金）～3月31日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

・「昭和のひなまつり」

展示期間 令和6年2月3日（土）～3月10日（日）

開催場所 企画展示室

来館者数 484人

〔点検・評価〕

展示活動は、資料を調査研究したうえで公開することで、資料から様々な情報を読み取り理解するという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

令和5年度においては、蟹江町文化財保存活用地域計画が文化庁より認定を受けたことに関連してその概要と文化財を紹介する特別展や、大河ドラマに登場した小牧長久手の戦いの一つである蟹江合戦をとりあげた特別展を行った。また、企画展では、特別展や講座に関連した展示のほか、昔の写真や地図の展示を行ったところ、来館者の方々からの反響があり、当時の町内の様子について情報収集を行うことができた。今後も時節に応じて効果的な展示を実施していきたい。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

令和5年度においては、文化財保存活用地域計画作成事業に伴い、令和4年度に引き続き関係資料の調査を行った。

〔点検・評価〕

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になると思われる。

(5) 情報提供

① 各種印刷物の発行

「蟹江町歴史民俗資料館年報第44冊」発刊

② おうちミュージアムの開設

おうちミュージアムは、令和2年3月に全国の学校等が休校になったことから、子どもたちが家でも楽しく学べるようにと、北海道博物館が取り組み始めたもので、主旨に賛同した博物館や資料館がホームページ上で学習に役立つクイズやパズルなどを公開している。蟹江町歴史民俗資料館では令和2年5月から開設し、年6回程度のペースで更新してきた。令和5年度に実施した内容は次の通り。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・「蟹江の鉄道について」 | 令和5年 5月12日（金）更新 |
| ・「蟹江町と「カニ」について」 | 令和5年 7月 7日（金）更新 |
| ・「蟹江祭について」 | 令和5年10月10日（火）更新 |
| ・「蟹江祭の歴史」 | 令和5年10月10日（火）更新 |
| ・「尾張温泉について」 | 令和6年 2月29日（木）更新 |
| ・「蟹江町ゆかりの人物クイズ」 | 令和6年 2月29日（木）更新 |

③ 関連機関発行の印刷物等への情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

蟹江町歴史民俗資料館年報第44冊については、県内の各市町村教育委員会及び博物館等の関係機関に寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行っている。おうちミュージアムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見学に出かけられない時も家で学べるようにと取り組み始めたものであるが、いつでも蟹江の歴史文化を調べることができると、大人にも評価の声をいただいている。今後はさらに内容を充実させるとともに、資料のデジタルデータ化や情報発

信も加速させていきたい。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	産業文化会館（中央公民館分館）ほか		
	開催数	募集人員	参加数
「かにえ地域学」講座	4回	30人	24人
環境学習 エコきっず調査隊	4回	20人	21人
郷土体験学習会	2回	各25人	延べ12人
文化財研修会	1回	80人	70人

② 出前講座

町民に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が地域に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	団体名等	内容	人数
令和5年6月20日(火)	駅前団地ふれあいサロン	小酒井不木について	9人
令和5年8月1日(火)	上之町祭保存会	蟹江の祭りについて	20人
令和5年9月6日(水)	友愛みなみ	蟹江城と蟹江合戦	22人
令和5年9月8日(金)	蟹江町社会福祉協議会	蟹江の歴史名所と文化財	14人
令和5年9月28日(木)	富吉グリーンハイツにここクラブ	蟹江城と蟹江合戦	21人
令和5年10月14日(土)	ふれあいライブラリー北之町	蟹江の歴史	18人
令和5年11月23日(木)	岩崎城歴史記念館	蟹江城と蟹江合戦	41人
令和6年2月29日(木)	蟹江町図書館	蟹江の歴史と文化	15人

③ 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	学校	内容
令和5年5月25日(木)	学戸小学校	蟹江の郷土食について

〔点検・評価〕

令和5年度は、出前講座の申し込みが令和4年度に比べ倍以上あり、蟹江町の歴史文化に関心を寄せる地域の方が多いことが実感できた。今後も継続して関心

を持ってもらえるように努力を続けていきたい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護等事業費補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護に係る経費の補助を行い、歴史文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図るなど、人的・物的支援を実施した。

補 助 事 業 数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め4事業

補助団体・件数：須成文化財保護委員会始め16団体・17件

町 費 補 助 額：2,599,000円

(2) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会や保存団体に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や太鼓等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 令和5年10月8日(日)

協力団体 蟹江新町日吉神楽保存会、本町分神楽保存会、今神楽保存会、西大海用神楽太鼓保存会、東大海用神楽保存会、舟入神楽保存会、源才神楽保存会

(3) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を1～2月を除く毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(4) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の啓発活動を実施した。

また、文化財についての理解を深め、次世代へ伝えていくために、各種講座を開催した。

講座・教室名	町内文化財所在地等		
	開催数	募集人員	参加数
須成祭マイスター養成講座	7回	15人	6人
須成祭体験講座	2回	各25人	延べ17人
歴史探訪講座 蟹江城調査隊	4回	20人	15人
ガイドボランティアと蟹江を学ぼう！	5回	30人	15人

(5) 文化財保存活用地域計画作成事業

平成31年4月に改正された文化財保護法に基づき、町内にある未指定を含めたさまざまな文化財を中・長期的な観点からどのように保存・活用し

ていくのかを明確にする計画書を作成するための事業。令和2年度から取り組み、令和4年度末に計画案を完成させ、令和5年度に文化庁認定申請及び情報発信を行った。令和5年度実施の内容は以下のとおり。

① 蟹江町文化財保存活用地域計画の認定申請及び認定

計画案について文化庁に認定申請を行い、認定を受けた。

認定日 令和5年7月21日(金)

② 情報発信

文化庁認定後、計画書を蟹江町ホームページで公開するとともに、印刷製本して関係機関等に配布した。また、計画書の内容をまとめた概要版の作成も行い、特別展「蟹江の文化財」において配布するなど、情報発信を行った。

発行部数

蟹江町文化財保存活用地域計画 300部

蟹江町文化財保存活用地域計画概要版 2,600部

〔点検・評価〕

文化財保護等事業費補助事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がなくなり、祭りを再開した団体もあったが、少子化で伝承者が減少したなどの理由から中止した団体もあった。地域によってさまざまな伝承への課題があるため、地元の人々の声に耳を傾けて対応していきたい。

文化財保存活用地域計画が文化庁の認定を受けたことから、地域計画の内容に従って、町民とともに町内の文化財等について調査・研究を行う歴史探訪講座や、ガイドボランティアと蟹江の文化財について学ぶ講座を開設した。こうした講座に参加いただくことで、住んでいる地域の歴史文化について興味を深めるとともに、自発的に保存活用していこう、という意識が形成されることを期待している。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

各種スポーツ教室

活き生きかにエスポーツクラブと連携（事業委託）し、町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
親子でフラダンス	6回	20人	5人	蟹江町希望の丘広場
ストレッチ体操 (100歳まで動く身体作り)	①6回 ②6回 ③1回	各20人	①8人 ②18人 ③8人	蟹江中央公民館
運動能力アップ教室	①5回	各20人	①46人	蟹江町体育館分館

	② 5 回		②26人	
なわとび教室	① 1 回 ② 3 回	①50人 ②25人	①23人 ②19人	蟹江町体育館
体操教室	2 回	15人	8 人	蟹江町体育館分館

〔点検・評価〕

生涯スポーツ事業については、生き生きかにえスポーツクラブと連携して5事業を実施（委託）した。引き続き「町民の体力向上と健康増進」を目標として、相互に連携を図りながら事業展開していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民の体力維持・向上を目指し、スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

- ① スポーツ推進委員 任期 令和4年度・令和5年度 18人
- ② 地区スポーツ協力員 任期 令和5年度・令和6年度 42人
- ③ 各種研修会
 - ・指導者研修会
 - 第1回 令和5年6月13日(火) 種目：スポーツ吹き矢、モルック
 - 第2回 令和5年8月1日(火) 種目：キンボール、ペタンク、ラダーゲッター
 - 第3回 令和5年9月5日(火) 種目：ボッチャ
 - ・スポーツ推進委員研修会
 - 令和5年8月26日(土)海部南部地区スポーツ推進委員研修会
(会場：弥富市 内容：健康と姿勢)

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、研修会へ積極的に参加することにより、資質向上を目指して取り組んでいく。

また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康の保持増進を図るため、生涯スポーツを推進していくことが重要であり、その中心的存在は、各地域で活動しているスポーツ推進委員や地区スポーツ協力員である。今後も相互が連携し、研修会で学んだことを活かし、各地域での活動を広げていく必要がある。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立、平成26年10月29日にNPO法人を取得。

・役員 理事 5人 監事 1人

- ・会 員 数 322人
- ・講 座 数 通年講座:11講座 特別 講 座:3 講座
サポート講座:2 講座 短期講座1 講座
- ・交付金等 交付金 1,500,000円

② 蟹江町スポーツ協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し支援する。

- ・16団体 1,008人 補助金 2,169,600円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団体の活動に対し、指導・支援する。

- ・16単位団 団員549人 指導者126人 補助金804,000円

〔点検・評価〕

総合型地域スポーツクラブ「活き生きかにえスポーツクラブ」は平成22年に設立され、令和5年度で14年目となる。会員数は少しずつではあるが、増加しており、順調に運営されている。

今後も、クラブ会員の増員を図ることや、各スポーツ団体や生涯学習課との連携を図りながら、事業展開の必要がある。

また、スポーツ協会・スポーツ少年団に関しては、事務庶務などを生涯学習課から移譲することが課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① スポーツまつり2023

老若男女、誰もが気軽にできるスポーツを通して、個人の健康維持を図るとともに、家族間、友人間の親睦を深める目的で開催した。

- ・開催日 令和5年10月21日(土)
- ・開催場所 学戸小学校屋内・屋外運動場
- ・参加者数 144人

② 第44回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催している。場所は、蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部は「5人1組 約7.5km」を走り、小学生以外の部は「5人1組 約12km」を走る2部門で実施した。

- ・開催日 令和6年1月28日(日)
- ・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺
- ・参加チーム数 68チーム

③ みんなで歩こう会(年1回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を

図ることを目的として開催した。

- ・開催日 令和5年11月25日(土)
- ・開催場所 滋賀県栗東町
- ・募集人数 80人
- ・参加人数 31人

④ 愛知万博メモリアル第16回愛知縣市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・開催日 令和5年12月2日(土)
- ・開催場所 愛・地球博記念公園
- ・結 果 町村の部 第3位

〔点検・評価〕

駅伝大会は、近隣の駅伝大会が休止となった影響もあってか、前年度に比べ多数の参加者があった。今後参加資格等も見直しながら安全に開催できるよう進めていきたい。みんなで歩こう会については、例年より参加者が少なかったため、その要因等を分析し、その解消に向けてスポーツ推進委員と協議して進めていく。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 7人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会などに選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 7人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町スポーツ協会などが実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 5月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合に、表彰や奨励金を支給しており、そのことが、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

女性対策

女性団体活動促進事業

蟹江町婦人会 活動事例発表

開催日 令和5年11月10日(金)

開催場所 愛知県女性総合センター

[点検・評価]

地域における社会教育活動の有力な担い手である女性の社会教育団体に愛知県が事業を委託し、活動事例発表が開催された。これからも政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、資質向上を図る研修事業などへの参加を求めている。

7 施設係

生涯学習施設、設備及び備品の整備

- ① 生涯学習施設に関しては、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類になったことに伴い、利用制限等を全て解除した。
- ② 町内の小・中学校の屋内（学校体育施設）を、町民の健康増進及びスポーツ振興を図るために開放した。
- ③ 希望の丘備品購入 アルミ縁台（4台） 55,000円
- ④ 中央公民館備品購入 乾式掃除機 31,130円
- ⑤ 体育館備品等購入 バウンドテニス用具 228,800円
防球ネット（2種） 80,608円
- ⑥ 学校体育施設開放事業備品購入
バレー支柱 98,978円

[点検・評価]

生涯学習施設は全体的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要であるため、今後、施設計画に従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。